

§ 1 なぜ、新しい計画をつくるの？

京都市では、平成11年6月に、今の計画である「京(みやこ)・めぐるプラン」をつくりました。

しかし、その後、図に見るような様々な動きなどがあったため、それらに合うよう、計画を見直そうとしています。

平成15年秋頃  
「京都市循環型社会推進基本計画(仮称)」を新しく策定する予定

世の中の流れを見ながら、次のような京都市の特徴も考えて...

- ・COP3 開催都市
- ・内陸都市であり、施設や埋立地の確保が難しい
- ・ごみ処理費用が増大しているなど

上流対策(発生抑制、再使用)をより強化した計画をつくるということで、この名称を予定しています。平成27年度を目標年次とします。

国の計画や法律などで示されている数値目標と、現行計画で示している数値目標とに、食い違いが出てきている。

ごみ減量に向けて、市民・事業者・行政の役割分担がより明確に。

循環型社会形成推進基本法や各種リサイクル法の制定  
排出者・生産者の責任が強化されてきている。  
ごみ対策の重点は焼却・埋立から、発生抑制・再使用などの「上流対策」へ。

平成11年6月  
「新京都市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画～京(みやこ)・めぐるプラン」策定

豊かさを生活の質に求める「ポスト消費社会」と、廃棄物を出さない「循環型社会」が実現した、「環境共生型都市・京都」をめざすとしています。  
平成22年度に市が処理するごみ量を、平成9年度レベルから15%減らすという目標を掲げています。